

スポーツと障害を考える

湯野 悠希^{1,a)}

概要：2021年、東京でのオリンピック・パラリンピック、2022年にはブラジルでのデフリンピック開催が予定されている。このような流れの中で、障害の有無を問わず、誰もがスポーツを楽しめることがますます求められている。一方で、障害者の観点からスポーツを考えると、十分に楽しめるとは言い難い状況である。文部科学省は、スポーツに関わる活動を「する」・「みる」・「ささえる」の三つに分けているが、本発表では特に「みる」に焦点を当てる。発表では、まず、スポーツ観戦における情報保障や支援についての話題提供を行った後、会場の参加者と共にディスカッションを通じて、誰もがスポーツを楽しむために必要な要素を検討する。

¹ リオン株式会社
RION Co., Ltd.

^{a)} y-yuno@rion.co.jp